



三気の門

PORTAL SANKI

NO.20

2026.10.13

文責：佐藤正一

うさぎとかめの話

むかしばなし みかた かんが かつ まな
～昔話から見方・考え方を学ぶ～



ぜんき しゅうぎょうしき はなし
前期の終業式でこんな話をしました。

「もしもし、カメよ、カメさんよ。世界のうちでお前ほど。歩みののろいものはない。どうしてそんなにのろいのか？」

「何をおっしゃるウサギさん。そしたらお前と駆け比べ。向こうのお山の麓まで。どちらが先に駆け抜るか」

『ウサギとカメ』の昔話です。元はイソップ物語と言いますが、多くの人知っている話です。

ところが、今どきの子供は案外知らない子もいます。ましてや、外国人だと知らないことも多いです。昔、海外の日本人学校でこの話を使った授業をしたら、知らない子が多くて、知っている前提で授業をして失敗した経験もあるからです。

そこで簡単に「ウサギとカメ」の話をし、コツコツ努力をすることの大切さを示した話だね…と言っておいて、「本当にそうか？」と切り返しました。

「そもそも、寝ているウサギを起こさないカメはどうなのよ？」(自分から勝負を申し込んでいたにも関わらず)。「勝てない勝負に自分から挑んだことが怪しい」「ウサギに眠り薬を飲ませた疑惑まである」などと話すと、みんな「えー」。

ウサギも「わざと負けた疑惑」とか、「最後はカメをほめたたえているので、ウサギいい奴説」とか展開しました。

要するにものの見方、考え方は複数あり、相手の立場に立って考えることが大事だよという話をしました。

